

# 朋友だより

民主党を中心とした政権となり、中小企業憲章制定が大きく  
クローズアップされています。

今回はこれについて考えて見ました。

ご参考になれば幸甚です。

2010年2月

(有)コンサルタント朋友  
代表取締役 奥長弘三



## 中小企業憲章の時代



### 中小企業憲章の勉強会に参加した

民主党を中心にした現政権になって、中小企業憲章の制定が急浮上しています。今年5月までに政府案の骨子を固めると報じられています。(日刊工業新聞 2010.1.6)

また最近になって中小企業庁内に中小企業憲章の研究会がスタートしました。

中小企業憲章とは、日本経済の中心は中小企業であることを政府、或いは国会が宣言するものです。日本では明治時代から大企業中心の政治が続けられています。大企業を優遇して育成すればその余波として中小企業、地域社会が潤うという考えに基づくものです。その結果、労働人口の7割を占める中小企業への施策は片隅に追いやられたままなのです。

これに対して、筆者の所属する中小企業家同友会全国協議会(中同協)は、2003年から中小企業憲章制定運動を進めてきました。ヨーロッパ EU が2000年にヨーロッパ小企業憲章を制定したことに学んで、日本でも中小企業憲章を制定しようという運動です。

民主党がこの中小企業憲章制定を政策に取り入れ、マニフェストに掲げました。その民主党が政権をとったため、憲章制定が現実のものとして急浮上したのです。

今年に入って、小生も憲章の勉強会に2回参加しました。1回目(1月28日)の講師は、中同協中小企業学習運動推進本部副本部長 杉村征郎氏 2回目(2月17日)の講師は、内閣総理大臣補佐官 中山義活氏です。いずれも小生の地元東京文京区内で開催されたものです。どちらも従来の勉強会では見られない幅広い人達が参加し、関心の高いことを示しています。

いずれにしても、日本政府が自ら中小企業が国の中心であると宣言することは、画期的なことです。これを機に、中小企業憲章制定後、中小企業が日本社会でどのような役割を果たすのかを考えて見ました。

### 生活の豊かさ、地域活性化への貢献

これからの豊かな日本経済をつくる上で決め手になるのは、生活に密着した内需の拡大です。この内需拡大の担い手を地域に根ざした中小企業が果たすことを期待したいのです。しかし、現状はこのような期待をよそに厳しいものになっています。この点に関して、駒沢大学の吉田敬一教授は、日本経済の弱点として次のように述べています。

日本経済が疲弊化している最大の問題点は、文明型産業振興に偏重している点に加えて、文化型・文明型を問わず、とりわけ内需の主流を形成する文化型の生活必需品産業分野(原材料・加工・組み立て・販売に関して国民経済ないし地域経済レベルでの域内循環が本来は基本)において、地域に根ざした本質的機能追求型の経営が駆逐され、コストダウン偏重のグローバル戦略に基づく価格破壊指向型の大企業が内需拡大の担い手、経済活性化の旗手として全面に押し出されていることにあると言えます。  
〔季刊「中小企業問題」 129(2010.1) P.7〕

このように指摘されて見ると、確かに私達の日常生活品の殆どを大手系列のスーパー、或いはコンビニ店に依存していることに改めて気がつきます。中小企業が地域から駆逐され、一般国民の視野の届かないところに追いやられています。

しかし日本の各地には、それぞれ歴史に培われた産物、文化、風物、建物、自然があります。これらをうまく利用しながら、事業(ビジネス)として展開することで、日本らしさ、地域らしさを持った豊かな生活を提案することは可能です。この担い手として期待できるものは、地域に根ざした中小企業でしょう。

この点で、北海道帯広での経験は私達に勇気と展望を与えてくれます。〔中同協研究センターレポート 第21集 P.84~86(2010.2.11発行)〕

帯広の中心にある商店街が焼けてしまい、焼け

野原となり放置された跡地を何とかまちづくりの起爆剤にしようと、当時の青年会議所(JC)のOB達が20軒ほどの「北の屋台村」という常設屋台をつつたのがスタートです。

1. 地元の人が美味しいと感じるものを供給できる店を集める。
2. 地域の食材、地域おこしにこだわる
3. 屋台はお店の経営者の通過点、3年で契約を更新する
4. 屋台村のコンセプトに合わないお店は断る

そして新しく制定された帯広市中小企業振興基本条例が威力を発揮します。その中で新しく人材が育ち、新しいシステム、新しい制度、新しい商品がどんどんつくられ、帯広のまちづくりが着実に進んでいます。

改めて、各地域で中小企業がその地域の活性化のためにどのような役割を果たすことができるかを考えたいものです。このことは、中小企業憲章を現実のものにすることにつながるでしょう。

## 働く場所、働きがいのある職場の提供

中小企業の大きな役割は、人々に働く場所を提供することです。無数の中小企業がそれぞれの地域の特徴を生かした仕事を行っていけば、人々はその中で自分に適した仕事、自分の好みに合った仕事を探すことができます。現在の様に職を求めて大都市へ行く必要がなくなります。

大企業は一部の人にとっては、フルに能力を発揮できますが、大部分の人にとっては歯車の一つにならざるを得ません。それに対し、中小企業は一人ひとりを人間として扱い、その持てる能力、或いは潜在能力を存分に発揮できる可能性を持ちます。しかし、中小企業だからといってすべての社員にとって働きがいのある職場というわけにはいきません。中小企業において、経営者が社員を利益追求の手段としてしか考えてない企業では、社員は働く喜びを感じることはできません。

中小企業で働く社員が真に生き生きと主体的に働く鍵は何でしょう。経営者と社員との間に人間的な信頼関係が確立されていることが決め手です。中小企業家同友会はその50余年の歴史の中で、これについて多くのことを蓄積することができました。原点となるものが「中小企業における労使関係の見解(略称、労使見解 1975年1月発表)です。その精神をふまえ、科学性、社会性、人間性の観点に立った経営理念を含む経営指針(理念、

方針、計画の総称)で経営を実践していく姿勢を確立することが、経営者と社員との信頼関係を築く大道です。双方に信頼関係のある職場でこそ、社員が真に働きがいを感じることができます。

## 他者との共生

中小企業の重要な特徴として、他者との共生があります。中小企業は本質的に自己完結型ではなく、他者との関係の中で仕事が成り立っています。原材料の仕入れ、下請業者とのやりとりだけでなく、仕事そのものの流れにおいて、常に他者との関係が問題になります。それだけに中小企業は常に相手のことを思いやり、他者との共生が得意な存在といえるでしょう。

これからの中小企業にとって、他者との共生の立場から大切なものは、次の3つです。

### 1. 地域社会との共生

中小企業は地域社会の中で生かされ、活動の場を与えられています。中小企業と地域社会は運命共同体のようなもので、中小企業が栄えれば地域社会も活性化します。自治体の諸活動、地域の安全・安心の担い手としての中小企業家への期待は大きいものがあります。

地域の文化、歴史、伝統との共生は今後一段と重要になります。これらの中から、中小企業にとって、豊かな生活を提案する新しいビジネス機会が生まれてくることでしょう。

### 2. 地球環境との共生

地球環境温暖化をめぐる問題は、待ったなしの課題となっています。地球環境保全のため、企業人として何ができるかを真剣に考えることが今求められています。

### 3. グローバル時代における海外との共生

海外、特にアジアとの共生は避けて通れません。アジアの人々の生活向上に日本の中小企業として何ができるかが、これからのテーマとなるでしょう。

グローバルな視点を持ち、世界の動向に注目しながら経営していくことが求められています。



## アカデミア・ミュージック株式会社

(東京都文京区：代表取締役会長 平岩寧氏 代表取締役社長 佐久間和男氏)

創業 62 年になる楽譜、音楽関係書籍の輸入、小売、卸売の老舗企業。

国内で唯一の海外で出版、制作された楽譜、書籍、情報その他音楽関連の商品を取扱う専門店として、創業以来、東京芸術大学を始めとして各音楽大学、公立私立総合大学、NHK等機関団体、研究者、プロ及びアマチュア演奏家、楽譜取次ぎ、楽器店に販売してきた実績を誇っています。また邦人作曲家を海外に紹介する為、国内で出版された邦人作曲家の楽譜の輸出に協力しています。

「東京・本郷のアカデミア・ミュージック」で全国の音楽愛好家に親しまれており、本社 2 階にある店舗には、全国各地からお客様が訪れます。毎月顧客向けに発行している、輸入楽譜・音楽書案内「アカデミア・ニュース」は 301 号を数えています。一昨年から編集担当社員が「弓町より、アカデミアの寄り道」のコラム欄で本社周辺の名所旧跡を取材・記事にしており、読者から好評を得ています。

同社は平岩会長の父君が創業した会社であり、昨年平岩氏が会長に退き、三代目社長として佐久間和男氏が就任しました。少子化が進行し、学校予算の縮小が進む中で起った世界同時不況の影響で厳しい経営環境にさらされています。佐久間新社長のもとで、経営理念の見なおしを含め、経営の立て直しに挑戦しているところです。

成熟化社会となり、中高年層の音楽愛好家は着実に増加しているようです。彼らを含め新しい顧客を如何に獲得するかが課題といえます。

### 経営理念

1. お客様がアカデミアに行って良かった、電話してみて良かった、相談してみて良かったと思ってもらえるよう、豊かな心を持ってお客様と接することを心掛けます。
2. 業界唯一の輸入楽譜専門店として、取引先と共に社会に存在することを意識し、世界の音楽界、出版界ひいては社会に貢献できる企業を目指します。
3. 従業員がやりがいの持てる職場、安定した生活をおくれる企業を目指します。

お問い合わせ： アカデミア・ミュージック株式会社  
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-21

TEL. 03-3813-6751 FAX. 03-3818-4634

URL:<https://www.academia-music.com>

\*～ あとがき ～\*

朋友だより 102 号をお届けいたします。

バンクーバー冬季五輪は今、丁度半ばです。やはり日本選手の活躍が気になり寝不足の日々が続きます。その開会式の挨拶の言葉の中で「オリンピック選手は人生にベストを尽くす人間の生き証人だ」と述べられました。先住民の文化に彩られた開会式は穏やかに楽しみましたがその後は結果のみに目が行ってしまいます。そこに至るまでのあきらめない精神力で鍛え培った実力がそれぞれのベストとして発揮できることを祈るような気持ちでTV 観戦しています。(野上)



**朋友** 有限会社 コンサルタント朋友  
〒113-0034 東京都文京区湯島 3-2 3-8 第六川田ビル 201 号  
TEL. 03-3833-6025 (代) FAX. 03-3833-6035.  
URL : <http://www.ne.jp/asahi/foryou91/tokyo/>